

男女 の 視点 で 考える

地域防災



最近、今までの経験を超えるような自然災害が起こっています。暮らしている地域が被災した時どうしますか。男性と女性それぞれの視点を取り入れながら地域の防災力アップを図りましょう。

公開講座

10/29(水) 10:00 ~ 12:00

東日本大震災に学ぶ、被災と復興の現実

～要援護者支援にも不可欠な“男女共同参画”の視点と対策～

講演

「男女で異なる被災時の困難とその影響」

講師 池田 恵子さん(静岡大学教育学部教員・静岡大学防災総合センター教員)

「自然災害の備えと心地よい避難所づくり」

玉野井 博さん(長野県危機管理部危機管理防災課防災指導員)

対象 どなたでも参加できます 定員60名

申込 電話、FAX、E-Mail 締切 10月25日(土)

参加費 無料

託児 1歳～就学前のお子さん(先着10名) 締切10月21日(火)

人材養成研修

10/29(水)と10/30(木) 2日間 10:00~16:00

- 公開講座講演
 - 講義「要援護者と多様な立場の人の支援のあり方」
 - ワークショップ「地域で活用してみよう！避難所運営に関するワークショップ」
- 講師 浅野 幸子さん(早稲田大学地域社会と危機管理研究所招聘研究員) ほか
池田 恵子さん(静岡大学教育学部教員・静岡大学防災総合センター教員)

対象 女性団体、防災や災害時に支援活動を行う団体・NPO、関係審議会等の委員、民生委員、行政職員等 定員30名

申込 電話、FAX、E-Mail 締切 10月22日(水)

参加費 無料

会場：長野県男女共同参画センター“あいとぴあ”（岡谷市）

講師紹介

浅野 幸子さん

阪神・淡路大震災でNGOのボランティア→スタッフとして在宅避難者・仮設住宅・全焼地域の復興まちづくり協議会支援に4年従事。(財)消費生活研究所、全国地域婦人団体連絡協議会で事務局・研究員として勤めつつ大学院修了。大学非常勤講師。主な分野は地域防災、非営利組織論。

池田 恵子さん

国際協力の現地スタッフとしてバングラデシュやネパールで環境保全や防災の事業に従事。2000年より静岡大学教員。男女共同参画・多様性配慮の視点からの災害リスク削減が研究テーマ。東日本大震災以降、災害支援・復興と男女共同参画に関する調査や研修に従事。静岡県ふじのくに防災男女共同参画ネットワークのアドバイザー。

主催

長野県男女共同参画センター

NPO法人全国女性会館協議会、減災と男女共同参画 研修推進センター

協力

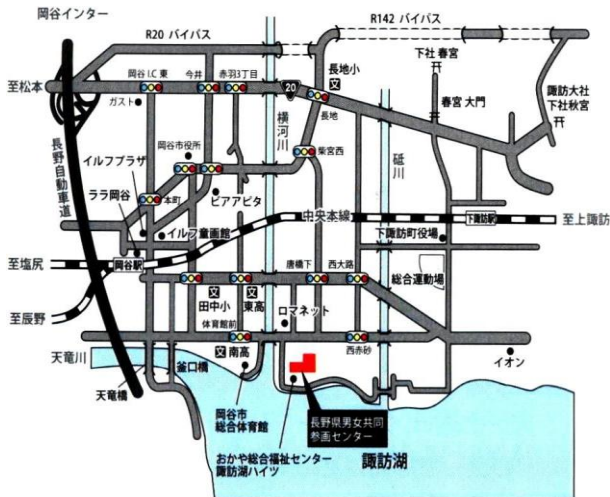
国際協力NGOオックスファム・ジャパン

参加申込

FAX 0266-22-5783

収集した個人情報は厳正に管理し、利用目的の範囲内でのみ使用します。

参加区分	<input type="checkbox"/> 10月29日 公開講座		
	<input type="checkbox"/> 10月29日、30日公開講座・人材養成研修(2日間) (所属団体、役職名)		
どちらかの口にチェックをいれ、必要事項を記入してください			
氏名		年齢	歳代
市町村名			
電話番号			
託児希望	あり()人	お子さんのお名前(ふりがな)、年齢	



お申込み・お問い合わせ
 長野県男女共同参画センター“あいとぴあ”
 岡谷市長地権現町4-11-51
 TEL: 0266-22-5781
 E-mail aitopia@pref.nagano.lg.jp